

●位置



●青ヶ島港の歴史

- 昭和 9 年 (1934) 青ヶ島港開港
- 昭和 32 年 (1957) 港湾区域設定 (東京都が港湾管理者)
- 昭和 40 年 (1965) 物揚場・突堤完成
- 昭和 47 年 (1972) 村営船「あおがしま丸」(50t) 就航
- 昭和 62 年 (1987) 「あおがしま丸」から「あおがしま」(75t) へ
- 平成 4 年 (1992) 「あおがしま」から「還住丸」(119t) へ
- 平成 12 年 (2000) 突堤式防波堤完成 (貨物の解取り解消)
- 平成 13 年 (2001) 大崩落の発生により数日間港湾機能麻痺
- 平成 14 年 (2002) 臨港道路の前出し事業着手
- 平成 19 年 (2007) 青翔橋完成

東京都港湾局離島港湾部  
東京都八丈支庁

編集・発行 / 東京都港湾局離島港湾部計画課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 TEL03(5320)5661

# 安全で災害に強い青ヶ島港へ



## せいしょうばし 青翔橋



東京都港湾局

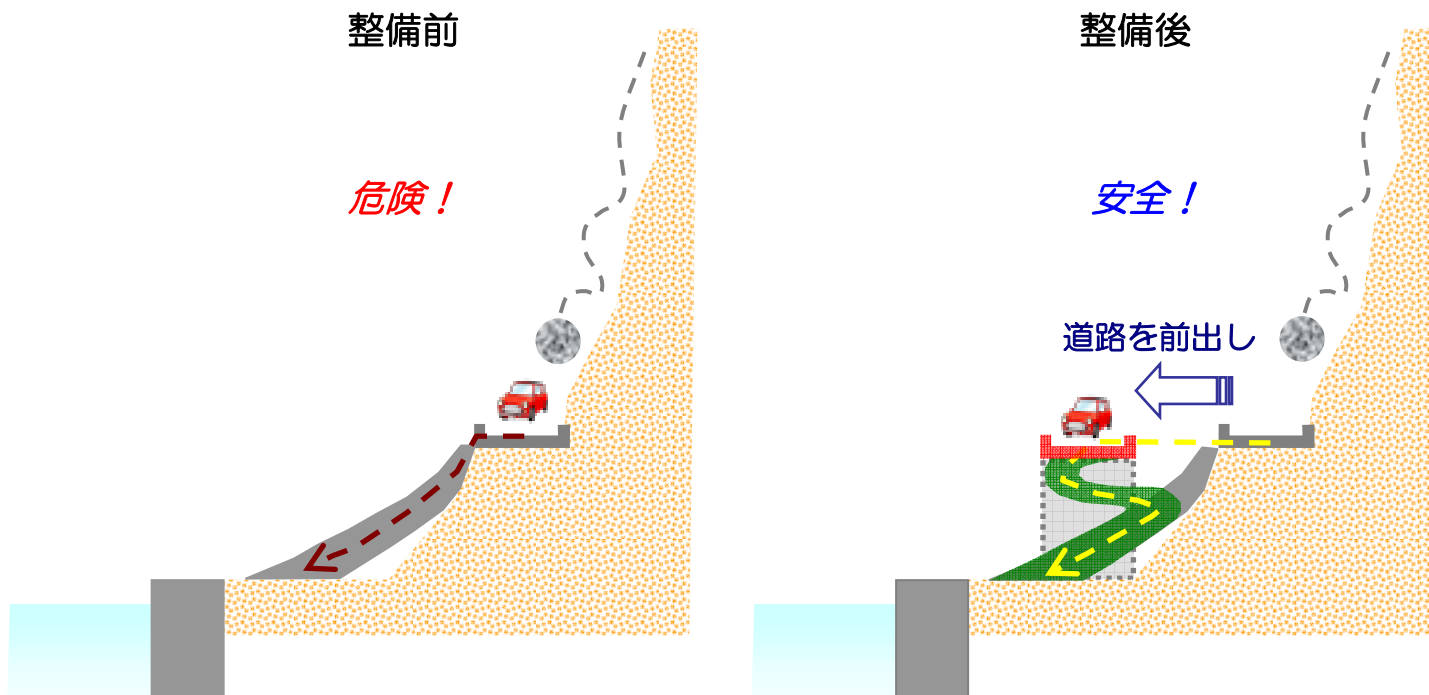


## ●整備目的

現在青ヶ島では、平成8年大千代港が背後法面の大規模崩壊により使用不能となり、青ヶ島港が島の唯一の港となっています。しかし、青ヶ島港背後の斜面は、これまで何度も崖崩れが発生して臨港道路の安全な通行に支障を来たすなど、大きな問題を抱えてきました。このため東京都は、安全で災害に強い青ヶ島港を目指し、崖崩れによる通行止め等の被害を軽減させるため、臨港道路を海側へ移設する事業を平成14年度に計画し、平成15年度から工事に着手しました。青翔橋は、この事業の一部区間を橋梁形式として整備したものです。



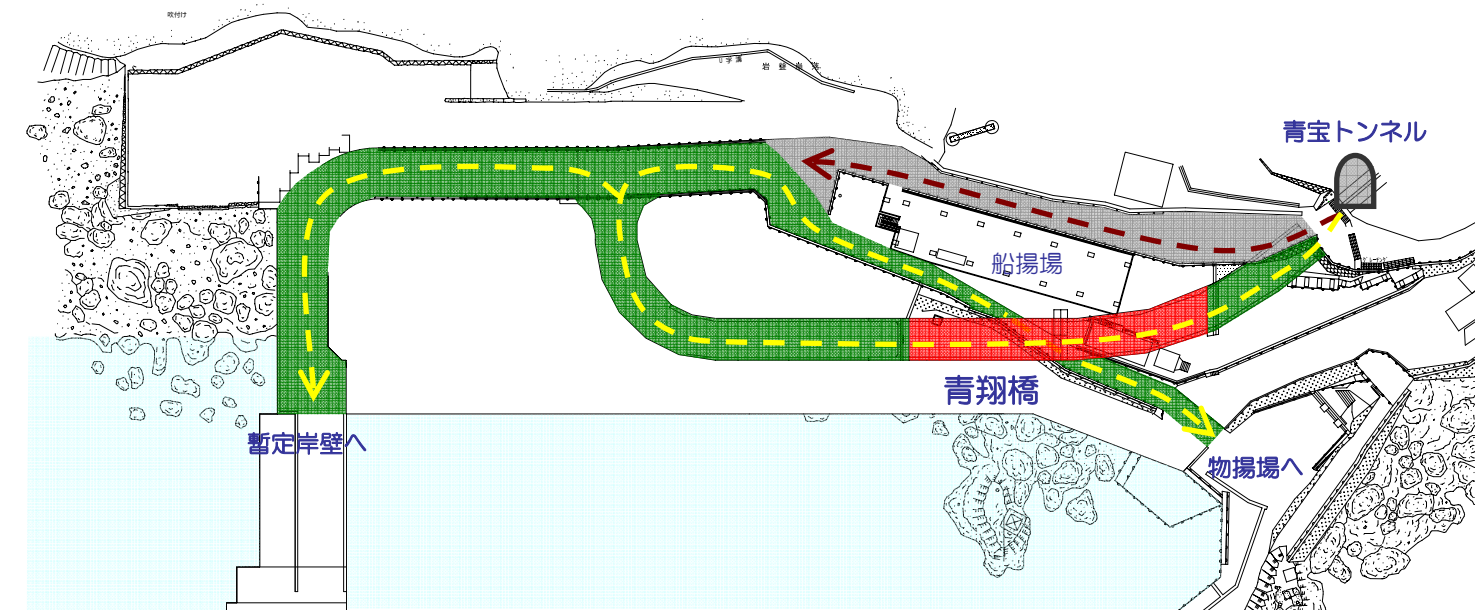
## ●整備効果



## ●諸元

橋長	L=62.0m
道路規格	第3種第5級（市町村道、計画交通量500台/日未満）
設計荷重	A活荷重（大型車の交通量が少ない道路）
構造形式	上部工：ポストテンション方式PC単純中空床版橋 下部工：逆T式橋台、張出式橋脚
基礎工	深礎杭φ3.5m、φ7.0m、場所打ち杭φ1.2m×12本
支間長	29.8m+29.8m
有効幅員	7.0m
整備期間	平成17年度～平成18年度（橋梁部）

## ●平面図



## ●側面図

